

令和5年11月15日

スマートモビリティシンポジウム 2023 を開催します。

中部経済産業局では、新たなモビリティサービスの社会実装による移動課題の解決や公共交通の利便性向上による地域活性化を目的に「スマートモビリティシンポジウム 2023～日本型モビリティ社会の創造に向けて～」を開催します。

モビリティサービスを通じた地域活性化に御関心のある皆様の御参加をお待ちしています。

1. 概要

- 日時 : 令和5年12月20日(水) 13:30~16:45(予定)
- 会場 : ウィンクあいち 5F 小ホール2 (愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38)
- 方法 : 会場とオンライン(Microsoft Teams)のハイブリッド開催
- 定員 : 会場参加100名 オンライン参加100名
- プログラム及び登壇者

(1) 基調講演

スマートモビリティの最新潮流～海外事例から見る日本のモビリティ～

- ・伊藤 明日香 氏 FIA(国際自動車連盟) サステナブルモビリティマネージャー

(2) 事例紹介

①自動運転時代のモビリティに求められる価値創造に向けた取り組み

- ・後藤 靖浩 氏 トヨタ紡織株式会社 車室空間企画領域 副領域長

②空飛ぶクルマの事業実装に向けて

- ・金子 岳史 氏 株式会社 SkyDrive エアモビリティ事業開発部 事業開発チーム 国内事業開発 統括

(3) 対談

<テーマ>日本型モビリティ社会の姿を考える

- ・牧村 和彦 氏 一般財団法人計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長
- ・伊藤 明日香 氏 FIA(国際自動車連盟) サステナブルモビリティマネージャー

2. 申込み方法

こちらの URL から申込みください。(申込み締切り:12月15日(金))

<https://maas-sympo.meti.go.jp/>

その他詳細については、別紙を参照ください。

【本シンポジウム開催の背景】

グローバルにおいて自動運転などの先進モビリティサービス市場拡大が見込まれる中、中部地域においても、移動課題の解決や公共交通の利便性向上による地域活性化、及び当地域の主要産業である自動車産業の国際競争力維持・強化の観点から、官民の協調により関連する取組全体を強力に押し進めることが重要となっています。本シンポジウムは、こうした状況を踏まえて、海外モビリティの最新動向のほか、未来のモビリティサービスに向けて開発に取り組む最新事例を紹介し、「日本型モビリティ社会」に向けた地域の機運醸成を図ろうとするものです。

(お問合せ先) 中部経済産業局産業部製造産業課自動車関連産業室 室長 篠田

担当: 富久 電話: 052-951-2724 (直通)

スマートモビリティ シンポジウム2023

～日本型モビリティ社会の創造に向けて～

中部経済産業局では、新たなモビリティサービスの社会実装による移動課題の解決や公共交通の利便性向上による地域活性化を目的に「スマートモビリティシンポジウム2023」を開催します。本シンポジウムでは、海外モビリティの最新動向の他、未来のモビリティサービスに向けて開発に取り組む最新事例をご紹介します、日本型モビリティ社会の姿について展望します。モビリティサービスを通じた地域活性化にご関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

2023年

日時

12月20日 水

13:30～16:45 (予定)

参加方法/会場・オンラインのハイブリッド開催

会場

ウイングあいち 5F 小ホール2

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

オンライン

Microsoft Teams

〈プログラム〉

参加
無料

基調講演

スマートモビリティの最新潮流 ～海外事例から見る日本のモビリティ～



伊藤 明日香 氏 FIA(国際自動車連盟)サステナブルモビリティマネージャー

2007年日産グローバルマーケティング本部入社。2018年OECD(経済協力開発機構)グローバル関係局政策分析官、2019年OECD-ITF(国際交通フォーラム)交通政策分析官に就任。2021年に発表した「革新的なモビリティの展望 MaaSの状況」では都市交通の現在・将来への指針がまとめられ内外から注目を集める。現在はFIA(国際自動車連盟)サステナブルモビリティマネージャーとして環境問題の克服などを課題にした次世代交通システムの開発に携わりグローバルで活躍中。

事例紹介

自動運転時代のモビリティに求められる 価値創造に向けた取り組み

トヨタ紡織株式会社 車室空間企画領域 副領域長 後藤 靖浩 氏

1994年トヨタ紡織(旧タカニチ)に入社。自動車シートや内装の次世代企画や戦略立案、先行開発に従事。OEMの製品企画部門、海外拠点への出向を経験。2016年よりCASEを見据えた車室空間・新価値創造に取組み「空間コンセプトMX191、MX221、MOOX」の開発、すべてのコンセプトに搭載した「人中心としたシステム」の開発、インキュベーション活動を推進中。

空飛ぶクルマの事業実装に向けて

株式会社SkyDrive エアモビリティ事業開発部 事業開発チーム 国内事業開発 統括 金子 岳史 氏

外資系事業会社(米系物流企業、関係マーケティング企業等)での日本での事業立ち上げ・法人化、日本・アジア地区オペレーション統括の経験を経た後に、コンサルティングファーム(PwC他)にて13年にわたり事業戦略立案、新規事業構想・設計・導入、日本企業海外進出支援、バリューチェーン改革、マーケティング全体設計に幅広く関わった後に2022年より現職。SkyDriveでは空飛ぶクルマビジネスの事業モデル全体設計、行政、企業と連携した社会実装を主導。

対談

〈テーマ〉日本型モビリティ社会の姿を考える

牧村 和彦 氏

(一財)計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長

伊藤 明日香 氏

FIA(国際自動車連盟)サステナブルモビリティマネージャー



牧村 和彦 氏 一般財団法人 計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長

愛知県出身。モビリティデザイナー。東京大学 博士(工学)。筑波大学客員教授、神戸大学客員教授、南山大学非常勤講師。都市・交通のシンクタンクに従事し、将来のモビリティビジョンを描くスペシャリストとして活動。近著が不動産協会賞、交通図書賞、IATSS賞など受賞。

日時 2023年12月20日(水) 13:30～16:45(予定)

参加方法 会場とオンラインのハイブリッド(2種類の)参加が選べます。

会場参加(定員:100名)

ウイングあいち 5F 小ホール2

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

- 【アクセス】●JR名古屋駅桜通口から:ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
●ユニモール地下街 5番出口から:徒歩2分
●JR新幹線口から 徒歩9分

オンライン参加(定員:100名)

Microsoft Teamsでのオンライン配信

- PCでの参加を推奨します。
- 専用アプリか、Webブラウザを使って参加してください。
 - ・専用アプリの場合
Microsoft Teamsアプリをダウンロードしてください。
 - ・Webブラウザの場合
推奨ブラウザは以下のとおりです。
 - Windows OS:Microsoft edge、Google chrome
 - Mac OS:Google chrome



申込み方法

下記ホームページまたは二次元バーコードより申し込みをお願いいたします。

<https://maas-sympo.meti.go.jp/>

▶申込み締切り:2023年12月15日(金)

※先着順。定員に達し次第メットとさせていただきます。

【注意事項】

- ・当日の録画・録音はご遠慮ください。
- ・参加無料ですが、オンライン参加の通信費は参加者のご負担となりますのでご了承ください。



アンケートご協力 のお願い

- シンポジウム終了後に新たなモビリティサービスについてのお考え等を伺うアンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- アンケート調査はWEBにて、実施いたします。
- 調査にご回答いただいた方には、本シンポジウムのプレゼン資料の一部をダウンロード頂けるURLを後ほどメールにてお知らせする予定です。

【個人情報の取扱いについて】

・ご入力いただいた事項は、本セミナーの申込受付業務を目的として使用し、他の目的で使用することはありません。・個人情報はご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。・受託運営する株式会社プロセスユニークの「個人情報保護方針 (<https://www.p-unique.co.jp/hp/privacy.html>)」に従い適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。